

2012年1月23日 西条市立西中学校の理科授業を実施しました

今年度も当工場にて理科授業(1年生)を実施しました。

授業は、教科書の単元にある「身の回りの物質」に、「プラスチック製品の作り方」を加え、身近にあるプラスチック製品がどのような性質を持ち、どのような方法で作られているかを「近くで見て、触ってみる」をキーワードに、プラスチックへの興味・関心を高めてもらう内容としました。

会場に集まった西条西中学校の生徒のみなさん



最初は、4つの材質の違うコップ(ガラス、プラスチック、紙、金属)を手にとり、「どんなところで使われているか?」また、「それはなぜなのか?」を考えてみるプログラムです。

続いて「プラスチックを調べよう」というテーマに入り、見た目は同じのプラスチックを使用して「硬さ」と「密度」について調べる実験を行いました。

どちらの実験も、実験結果が自分達の予想と違う結果になる場面が多く、いろいろな種類のプラスチックがあることに驚き、「物質の性質を調べる」ことを全員が興味を持って楽しんでくれました。

そして「プラスチック製品のつくり方」と「工場見学」です。

当社の主要製造方法を「チョコレートの作り方」、「金太郎飴の作り方」を例に説明し、イメージが掴めたところで、実際の「製品ができるまで」を工場見学で見てもらいました。

工場見学では製造中の成型機を近くで見ながら、プラスチックの原料を触ったり、表面が特殊加工された合成木材を触って、「これもプラスチック??」とビックリする経験もしてもらい、普段は経験することの少ない「見る・触る」の体験をしてもらいました。



リファーレ(合成木材)工場にて
木質感のあるプラスチック製品を触ってみる

そして最後に、「創造力、探究心を大切にして皆さんの力で未来を切り開いてください」というメッセージを生徒のみなさんに伝えて、今年度の一連の授業を締めくくりました。